

これほどよい材料はないのであらうと思はれる。

さて以上の材料を實際に取扱ふ上に、一組の幼兒の數や、その幼兒の智能の發育の程度、或は材料の都合などいろいろのことから、同じ材料で遊ばせるにしても各自指導するものが臨機の指導法を考へなくてはならない事は云ふまでもない。

又材料にしてもこれ以外に適當なものも考へられる事は當然である。常に親しく日頃遊んでゐる幼兒たちに最も適切なる材料の提供の出来るものは各幼兒の擔當する保姆であるから各自持場持場によつてたゞ研究する覺悟が手技指導の要諦である。

誘導保育

菊池ふじの

國民學校令が實施せられて茲に一年。自分が二ヶ年間いつくしめる兒等を送るべき國民學校、それと又、我も亦教育者の一人なり先づ知らざるべけんやといふ二つの意味に於て、この一年間、私共も亦國民學校の勉強にこれ務めて來たのであつた。勉強して見て愈々思ふことは、國民學校低學年の綜合教育が何とこの誘導保育に似てゐることであらう、と云ふことである。例へば陽春四月兒童の生活をとりまく環境が春である場合には、理數科に於ても圖畫に於てもまた讀方に於ても春に取材してあり、入學當初には、ヨイコドモにも讀方にも理數科にも到る處、この入學したての生活に取材してあることは、堀先生御執筆三月號初等科一學年の各

科聯絡一覽表を見るに一目瞭然たるのである。實にこの横の繋りを持つところ、この誘導保育案が、本來幼兒の生活の中のものであつた各保育項目を、再び生活の中に綜合し融合してゆくとの軌道を一にするのである。

も一つは、生活の中に於てとか、兒童の生活に即してとか教師用書には到る處この言葉が用ひられてゐるが、この生活に即してゆくやり方はまたこの誘導保育案の爲し來つたところなのである。即ち誘導保育案は、幼兒の内にひそんで居り、芽ばえてゐる興味性をとりあげて生活主題として示し促すことによつて幼兒の生活目的となり、絶えずこの生活目的に即して、この案の遂行完成をなすのである。

以上の二つの點に於て實に幼稚園と國民學校低學年とが接近して來た感じがするのである。改訂「系統的保育案の實際の解説」には倉橋主幹によつてこの意味がよく盡されてゐる。然讀玩味せらるべきことなお奨めする次第である。

たゞ玆に注意しなければならないことは、獨り國民學校のみならず我が國の教育全體の根本に於て、天皇陛下の御爲、國の爲にと言ふ強い大目的の下に、總ての小目的は統合せられなければならないといふことである。即ち皇國の道に歸一せしめると言ふことである。今までだつて、この大目的の下にあつたのであるが、時局がこゝまで立ち到つて、今こそ高度國防國家建設の必要に迫られ、鑿國の精神に則つて大東亞共榮圈の確立に邁進しなければならない時、國の意志を常に各々の心に意志して、幼稚園の幼兒など雖も皇國民の練成に向かつて進まなければならぬのである。

と言つても二六時中、何から何まで直接的に強度國防國家建設の爲にとばかりはやかない時がある。皇國民への鍛成の爲に、その時代の心理を充分に捕へ生かしてゆくべき場合も實際の教育の場面には多々あるのであるが、これども決して児童中心主義からではなく、よりよき皇國民への鍛成の爲にといふ考方からであることを注意しなければならない。

つひ横道にそれてしまつたが、こんなわけで就學前に於て、この横のつなぎを持つ、綜合的學習生活への態度及び生活によつて興味を促され、動機づけられ、生活の具體性の中に統合せられてゆくの態度を養つておく必要が愈々大切になつたことを痛感するのである。

汽車

五月ともなれば、もうそろ／＼馴れ易い子供達は、子供同志連れだつて遊ぶやうになる。砂場などでも女の子はお菓子作りばかりでなく、時にはお山にトンネルを穿ち興するやうになる。男の子などは簡単な汽車遊びを始めるに違ひない。けれども子供達だけ任せていたのでは、構想を持つた、或る程度の強力な汽車遊びにまではとても發展し得ないのである。この頃に保姆は熱意を籠めて、一つ砂場の汽車遊びに進み出て見やう。この積砂場となると、粘土の汽車では少し規模が小さいから、子供達が自然に遊んでゐるのをそのままに積木の汽車にしやう。この積木に窓を描き入れたりすれば、より實感が起るであらう。野原を作り、山を築き川を掘り鐵橋を架す。野には雑草をあしらへ、レ

ールを敷く。これだけをみんなでしてもらひに喜ぶことであらう。そして遊びがまだどんなに生氣を帶びたものになるであらう。

共同の砂場であるから、その日限りのもの、或はよくいつて翌日位までが繼續時間であらう。

極く初步の、共同的計畫作業への導き入れが期待效果の主なるもの。

若し砂箱でも使って、もつと小規模といはうが精密といはうが、丹念なものを作る時には、汽車、レール、人、電柱などは粘土にて。この場合は大まかな手技としての期待效果も持てるのである。

この他、ごく初步の共同的計畫作業への導き入れとして、入園當時試みてみたものに、

まゝごと遊び用具作り

お皿—厚紙にて。色や模様をつけさせる。

御馳走—新聞粘土にて。色を塗らせる。お海苔巻、ハムライス、お寿し、西洋菓子、お饅頭、ホットケーキ等。

野菜・果物—新聞粘土にて。色をぬらせる。南瓜、胡瓜、茄子、おさつ、くわる等。

魚—畫用紙程度の厚紙にて。子供達に描かせるか又は先生が描いておいてもよい。色を塗らせ、切抜かせる。子供のしつてる魚いろいろいる。

お土產—おまごとに、訪問の時用ひるお土產があると、とても遊びが發展する、風呂敷も用意しておく。新聞粘土で作った西

洋菓子、お饅頭、ケーキ等をのし箱に入れるやうにする。

幼稚園の小鳥小屋—切り紙にて

クレヨンで、大判の紙に鳥小屋の繪を描く。子供で出来れば一番よいが、出来なければ保姆が描いてもよい。組の子供の切り紙の小鳥をこの鳥小屋へ貼つて見ると幼稚園の鳥小屋になる。

幼稚園のお池

切り紙でも出来る、自由畫でもよい。幼兒個々の金魚、鯉、小魚等が集つて幼稚園のお池になるといふ趣向。

幼稚園のお庭

砂箱でもよい。切り紙でもよい。又自由畫でもよい。

八百屋—切り紙にて

各幼兒に畫用紙ぐらゐの厚紙にて八百屋にあるものゝ中のごく簡単な形のものを描かせ、塗らせ、切らせて之を集め、八百屋らしい店を拵へて(平面に簡単に)みんなの作った野菜物をあしらへて店らしく作る。

この他、ごく簡単な案はいろいろあるであらう。丹念にと思ふとひ手がかつておつくうになるし、又、新入園兒ではとても

そう凝つたものは出来ないのであるから、ごく簡単にと計畫して、時々目先きの變つた、初步の共同的計畫作業への導き入れをすることである。

○丁度この讀の發行になる頃、四月八日、日比谷公園

に於て、眞珠海攻撃に於ける、海軍特別攻撃隊の軍神九柱海軍合同葬が舉行される事が發表になつた。我等は肅然襟を正してこの九柱に感謝感激の獻禱を捧げずにはゐられない。虚子の「若草に老の涙はけがらはし」が獨りでに口すさまれる。

やがて又近く靖國神社臨時大祭が取り行はせられる。感謝感激が胸に目に溢れる。

○それにもしても、この子ども達を幼稚園としてどう育て、おくべきであらうか、「皇國の道」といふだけではともすると概念的な目標となりがちであるが、その具象的な幾多の事實の例證に富むこと今日の如きは前代未聞であらう。「三つ子の魂百までも」と言ふ意味で、兒等の鍛成の上にごく大きつぱな考として、如何なる困苦缺乏にも堪へられる體力及び意志力、それと愛國的熱情、こういふ方向に工夫を凝らさなければならない。

○新入園兒を迎へた幼稚園の新年四月。年長組になつたと大いに自重してゐる兒等、幼稚園の生徒になつたのだと瞳を見張つてゐる新入の兒等を迎へて、各幼稚園はどんなに楽しい御多忙の日々を送られておいでやせう。

(編輯子)